

フィンドレーと日本のつながり

日本とフィンドレー市・ハンコック郡の強いパイプは、1980年代後半に始まる日本企業進出、オハイオ州・埼玉県姉妹都市関係に基づくフィンドレー大学と埼玉県の教育交流、フィンドレー大学の福井県へのフリード福井奨学金制度設立などを通して築き上げられて来ました。

フレンズ・オブ・フィンドレー

フレンズ・オブ・フィンドレーとはオハイオ州北西部にある日系企業14社が集う連絡協議会で、会社経営のための情報交換の場を提供すると共に、この地域に住む約250人の日本人と地域を結びつける役割を果たしています。駐在員家族とフィンドレーの要人が一堂に集ってスポーツやゲームを楽しむ秋のピクニックや、フィンドレー地域の政治経済関係者とのゴルフコンペなど、フィンドレーに進出する日本企業の駐在員家族が暮らしやすい環境作りに励んできました。隔年で行われる地域の教育関係者の日本への研修旅行、トレード日本人補習校へのサポート、新しく赴任した駐在員家族へのオリエンテーション、フィンドレー地域の教育関係者に感謝の意を表する「ありがとうの会」などを通し、地域社会、特に教育、医療関係者との強いパイプを築き上げています。

フレンズ・オブ・フィンドレー参加企業(アルファベット順)

ADA TECHNOLOGIES, INC.
 AMERICAN FINE SINTER CO. LTD
 BRIDGESTONE APM COMPANY
 DOWA THT-AMERICA
 DTR INDUSTRIES, INC.
 G.S.W. MANUFACTURING, INC.
 KAMCO INDUSTRIES, INC.
 MOLTEN NORTH AMERICA CORPORATION
 NISSIN BRAKE OHIO
 PRO-TEC COATING COMPANY
 ROKI AMERICA CO. LTD
 SANOH AMERICA, INC.
 NISSPON STEEL AND SUMIKIN CRANKSHAFT LLC
 TAIHO CORPORATION OF AMERICA

フィンドレーには日本人が暮らしやすい環境が整っていて、小さな子供から大人まで安心して生活することができます。



ジャパン ウェスト(日本食レストラン、フィンドレー市)



リバーサイドパーク



フィンドレー カントリークラブ(18ホール)

全18ホールのゴルフコースが
フィンドレー近郊に6つ!!



Tim Mayle

ティム マイリー
局長

フィンドレー/ハンコック郡経済開発局

Director

FindlayHancock County

Economic Development

office 567.429.7078

mobile 419.788.0490

tmayle@FindlayHancockED.com



Dan Sheaffer

ダン シーファー

プロジェクト スペシャリスト
フィンドレー/ハンコック郡経済開発局

Project Specialist

FindlayHancock County

Economic Development

office 567.429.7079

mobile 419.425.1711

dsheaffer@FindlayHancockED.com



川村宏明

局長補佐

フィンドレー/ハンコック郡経済開発局
フィンドレー大学准教授

Special Assistant to the Director

Findlay Hancock County

Economic Development

Associate Professor

University of Findlay

Phone 419.434.4619

kawamura@findlay.edu

We are ready for you



**Findlay Hancock County
Economic Development**
a division of the Findlay Hancock County Alliance

米国オハイオ州フィンドレー市・ハンコック郡
経済開発局



フィンドレーのビジネスコミュニティ

フィンドレーでの生活

米国小都市における企業投資額ランキング 3年連続全国1位
2014年、2015年、2016年

フィンドレー市は米国オハイオ州北西部にある小都市で、市の人口は約4万2千人です。フィンドレー市を取り囲むハンコック郡は農業の盛んな地域で、約7万6千人が住んでいます。フィンドレーのビジネス・コミュニティには、クーパータイヤ・アンド・ラバー・カンパニー (COOPER TIRE AND RUBBER)、マラソン石油精製会社 (MARATHON PETROLEUM)、ワールプー ル・コーポレーション (WHIRLPOOL) 社などの大手企業が居を構えています。また、1980年代に始まる経済団地の開発と共に多くの外国企業を迎え入れてきました。6社の日系企業に加え、カナダ ドイツ (ミテック・パワートレイン社)、デンマーク (ハムレット プロテイン社) が進出しました。2015年にはブラジルのバルフィルム社が進出し、国際色豊かなビジネスコミュニティを作り上げています。



キャンベル社起工式 (2017年8月8日)

フィンドレーは2000年に入り、米国の「サイト・セレクション誌」の小都市投資ランキング (人口5万人未満) で常に上位にランクされていました。それが、2014年から現在に至るまで、3年連続で全国1位の栄誉に輝いています。これは、現存する企業の事業拡大と新たな企業のフィンドレーへの進出によるものです。1年間で15億ドルに及ぶ投資を可能にした背景には、地理、気候面での好条件、インフラ整備、そして経済開発局、フィンドレー市・ハンコック郡からの企業活動への強力なサポートがあります。

労働力

フィンドレー・ハンコック郡は、良質な労働力を有しています。半径30マイル (48キロ) 以内の地域には約30万の人が住んでいますが、その91パーセントをこえる市民が高等学校を終了しています。

フィンドレー市高校には、ミルストリーム (MILLSTREAM) キャリアセンターという職業訓練校があり、ここでは地域企業のニーズに合わせて高校生への職業トレーニングのカリキュラムを組んでいます。ミルストリームとの連携により、短期、長期にわたり良質な労働力を提供できるシステムを作っています。



ミルストリーム・キャリア・センター

2016年には、「ハンコック郡 Raise the Bar (レイズ・ザ・バー)」というNPOが立ち上げられ、産官学の緊密な協力体制のもと労働力のさらなる改善に向けての努力が続いています。

半径50マイル (80キロ) 以内の地域には、フィンドレー大学、オーウェンズコミュニティカレッジに加え、トレド大学、ボーリンググリーン州立大学などの総合大学があり、大学機関との様々な分野での連携が可能です。

インフラ整備

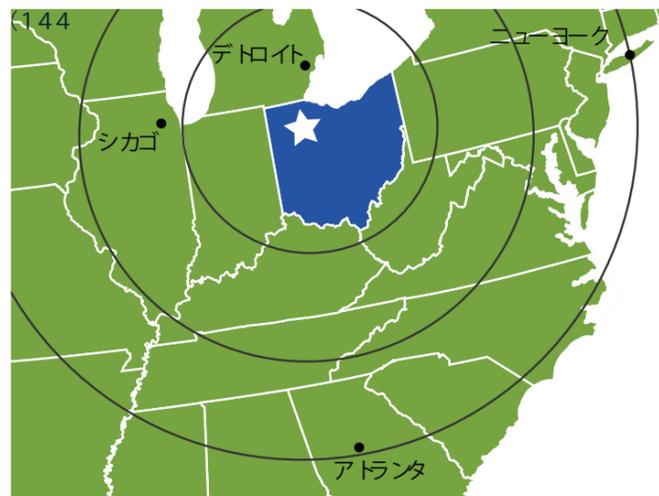
フィンドレー・ハンコック郡では、ガス、電気、水道及び電話通信などの公共設備が他の都市よりも低価格な料金設定で整備されています。また、メトロ・イーサネットや光通信などを使った高速インターネットアクセスが、商業地区と居住地区全体に行き渡っています。

アメリカの60パーセントの人口が、フィンドレーから半径600マイル (960キロ) 以内に集中しています。アメリカ中西部とカナダの自動車市場へは、フィンドレーを貫く幹線道路であるインターステート75号が橋渡しとなり、またハンコック郡にまたがるノーフォーク・サザン鉄道とCSX鉄道を使う、貨物輸送も可能です。CSXは、2011年に より早く、より確かなサービスを提供するためにナショナル・ゲートウェイ貫輸システムを開始しました。空輸については、6500フィート (約2000メートル) 級の滑走路をもつフィンドレー空港が市内にあります。また、航空輸送サービスには、トレドから45分の位置にあり、その他にも、デイトン、コロムバス、クリーブランドとデトロイト国際空港などが車で2時間以内、90マイル以内 (キロ) にあります。また、夜間荷物輸送が可能なトラック輸送会社が数多く存在し、貨物輸送サービスを提供しています。

フィンドレー周辺では、外国貿易地域 (FTZ, FOREIGN-TRADE ZONE) への認定申請が可能であり、国際輸入、輸出に関しては関税免除を受けることができます。つまり、フィンドレーにあっても税法上は外国とみなされ、FTZ下に置かれる貨物は関税を払わずに保管することができるのです。FTZの倉庫内であれば、買い手が見ついた時点で輸入関税を払えばよいので、キャッシュフローのメリットがあります。

主要都市への距離

ミシガン州、デトロイト	約150キロ
イリノイ州、シカゴ	約340キロ
ニューヨーク州、ニューヨーク	約820キロ
ジョージア州、アトランタ	約810キロ



生活環境

国際的な経済活動に取り組むなか、アメリカ中西部の小都市としての特徴が多く残っています。美しい環境のもと、昔ながらの価値観が残っていて、犯罪率は非常に低く、警察や消防制度も整ったコミュニティです。日本の北海道とほぼ同じ緯度に位置しています。

住宅事情は良好で、アパート、新築および中古住宅まで、幅広いタイプの住宅が手ごろな価格で手に入れることができます。郊外住宅も豊富で、ラッシュアワーもありません。

フィンドレー市には、日本料理店が2軒、また日本食料店もあります。単身赴任、家族連れの駐在員にとって、恵まれた生活環境です。買い物は、市内に24時間営業の大きなスーパーが数軒あり、また大きなショッピングモールが車で40~50分のところにあります。ゴルフコースにも恵まれ、フィンドレー近辺に合計6つの18ホールのコースがあり、廉価で使うことが可能です。



ハンコック郡裁判所

教育

保育所、幼稚園から中学・高校に至るまで、日本人子弟のための教育環境が整っています。フィンドレー市教育委員会では、ESLプログラム (第二言語としての英語教育) が非常に整備されていて、駐在員子弟の教育は心配ありません。また車で約40分のところに、トレド日本人補習校があり、日本語での教育のサポート体制も整っています。

フィンドレーの教育レベルは高く、ハンコック郡内の高校は、一貫して基本科目の全分野で州及び全国平均を上回る結果を出しています。フィンドレー市には、学部、大学院を有するフィンドレー大学と2年制のオーウェンズ・コミュニティカレッジがあります。大人向けのESL英語のレッスンはフィンドレー大学、オーウェンズ・コミュニティカレッジに加え、地域の教会などでも受けることができます。

ESLプログラム以外でのサポートも整っていて、フィンドレー学区から土曜日に補習校へ通う日本人子弟のために市の教育委員会はスクールバスを提供しています。



フィンドレー市内の住宅街



フィンドレー大学



キューブ・アイススケートリンク



オーウェンズコミュニティカレッジ

医療

フィンドレーにあるブランチャード・バレー医療システムは、ベッド数150の総合医療機関で、入院、通院、救急、ホスピスまで、広範囲にわたるサービスが整っています。2011年、2015年、2016年の3度にわたり、医療施設評価の権威であるトウループン (TRUVEN HEALTH ANALYTICS) による全国の病院ランキングで、ベスト100の1つに選ばれました。日本人コミュニティに対してのサービスも整っており、書類やパンフレットの日本語翻訳、電話による通訳サービスも行っています。また隔年で日本人対象のオープンハウスを行い、日本人が来院しやすい環境作りにも努力しています。



ブランチャードバレー病院